

SAMURAIレポート 第3号

特集! 各地のSAMURAI

倉裡澄人

東京を離れて

魂魄士になってはや半年。『サムライブレイドTRPG』のルールブックの表紙になっている私、日比野こよみが、第3回のSAMURAIレポートを公開します。

今回は東京を離れ、やって来ました綾代市。逢魔は華札があるOEDO、つまり東京に出現することが多いけど、何だかんだ日本各地で出現すること分かっています。綾代市で起きた逢魔事件の取材をして、これからSAMURAIに入る人たちのお役に立てればと思っています。

綾代市にて

綾代市に同行してもらったのは、SAMURAI本部の片岡和樹さん。

いつもお世話になっているエキスパートのリーダーで、頼りになるお兄さんです。私はまだ運転免許が取れないで、片岡さんの車に同乗して、綾代市に行くことになりました。

こよみ：取材のご協力、ありがとうございます。

和樹：これもエキスパートの任務ですので、お気になさらず。ですが、魂魄士の方々のお役に立てて嬉しい思います。

こよみ：東京にあるのがSAMURAI本部なので、やはり支部があるんですね。

和樹：ええ、SAMURAIの支部は、

全国の主要都市に置かれています。

SAMURAI本部は東京にあるけど、地方、特に主要都市、札幌、仙台、横浜、名古屋、京都、大阪、広島、福岡には支部が置かれています。片岡さんから逢魔はどこにでも現れる可能性があるから、支部にも魂魄士やエキスパートが待機していることを説明してもらいました。

和樹：また主要都市以外にも、靈的なスポットや龍脈の影響が強い土地には支部が置かれています。

こよみ：龍脈や靈的な影響が強い場所ですか？

和樹：はい。出雲大社や伊勢神宮、高野山など重要な寺社仏閣がある場所や、日本神話に纏わる因縁がある土地です。綾代市も、そのひとつですね。

綾代市には、太古の中国大陸から化物が渡ってきたという伝説があるそうです。本当か嘘かは分からぬけど、逢魔の出現が他に比べて多いので、支部が置かれることになったんだって。

こよみ：SAMURAI本部は人が多い印象ですけど、支部はどうですか？

和樹：支部次第ですね。大阪や名古屋といった主要都市の支部は人員も施設も充実しています。綾代市はそれほどではないかな。

こよみ：人手が少ない支部で逢魔事件が起きてしまったら……大丈夫なんですか？

和樹：安心してください。そのためにエキスパートがいるのですから！

考えてみれば愚問でした。

逢魔事件が起きた際には片岡さんたちエキスパートが事態を把握して、実働部隊の魂魄士に出動要請が掛かるシステムが構築されています。情報収集とか事前準備とか、片岡さんたちエキスパートがとにかく色々と頑張ってくれるから、私たちは安心して戦いに集中できるんです。

こよみ：戦いに行って思うんですけど、地元の人たちは皆さん協力的ですよね。

和樹：いやあ……実はそんな簡単にいかないこともあるのですけど……。

公然の秘密らしいですが片岡さんいわく、警察や自衛隊などの別組織、地元に根付いている退魔組織には縄張りがあり、すんなりSAMURAIに味方してくれる訳ではないとのこと。

こよみ：逢魔が目の前にいるのに、人間同士で争うなんて！

和樹：まあ、そう言わないであげて欲しいかな。組織の意義や利益が絡んで動きが取れないこともあるけど、逢魔を倒すという目的が一致していれば、最後的に協力してくれることがほとんどですよ。

以前に取材をさせてもらった陰陽寮や華札の巫女がいる江戸大社は知っていたけど、日本の各地にはその地方独

自の靈媒師や挙み屋といった退魔師などが多いらしいのです。

和樹：そういう退魔師たちは先祖代々の土地を守ってきた誇りがあるから、SAMURA Iの手を借りないで自分たちで解決しようとする傾向が強い。自分としては、それはそれで正しいし、SAMURA Iも余裕があるわけではないから、地元のことは地元の人たちで解決できた方が良いと思っているよ。

こよみ：でも、それで解決できない時だってありますよね。

和樹：解決できない時こそ、エキスパートを利用する。それくらいの心持ちで我々に協力してくれれば、ありがたいけどね……。敵の敵は味方だ、ということですよ。

魂魄士の中にはSAMURA Iに所属していない人もいるのだけど、そういう人たちを繋いでくれるのはエキ

スパートの協力あってのことなのですね。

まさしく縁の下の力持つて感じだけど、エキスパートの皆さんは強いのかな？

こよみ：そういうえば、片岡さんも武靈刀みたいな武器を持っていますよね。

和樹：封靈刀ですか？ 確かに武靈刀を模して造られているので、護身用程度には使えます。

こよみ：動きを見てて思うのですけど、片岡さん、実は結構強いですよ。

和樹：守りの剣は修めているので、下級逢魔ならば相手にできますよ。ただ、魂魄士ではないので中級以上には歯が立ちません。おそらく一方的な虐殺になるでしょう。

魂魄士と一般人の違いは『華札』と『武靈刀』。特に華札の力なしでは、強力な一撃を与えることは難しい。

片岡さんは私が知らない剣技を見せてくれたけど、強力な逢魔には敵わないと話してくれました。……何か複雑な顔をしていたなあ。

和樹：エキスパートの中には、猛特訓の末に魂魄士と渡り合えるくらいの実力者もいます。また魂魄を失った元魂魄士もいて、技の冴えが衰えていない人もいます。でも……。それだけじゃダメなのですよ。

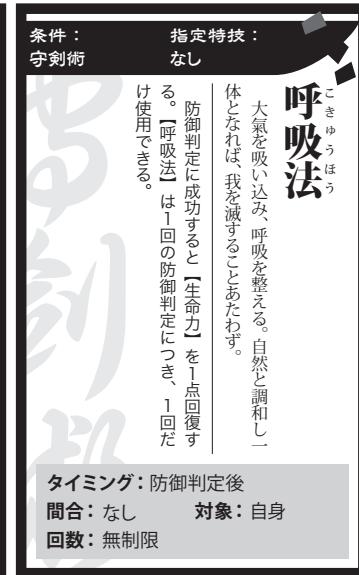
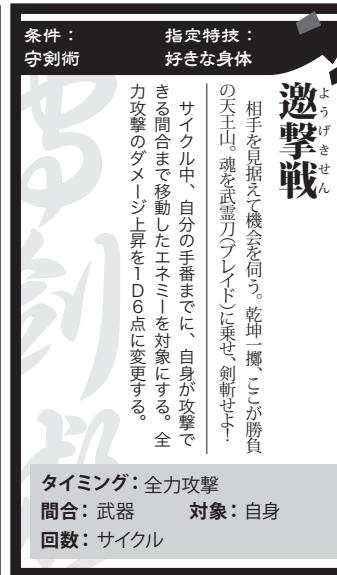
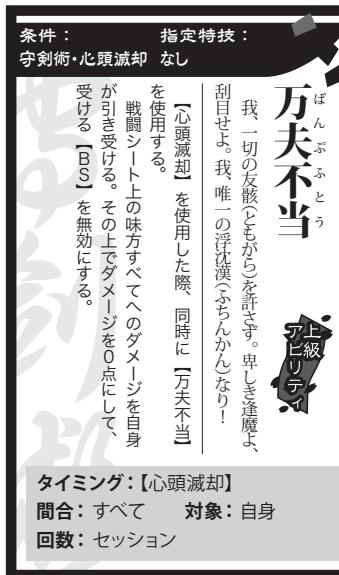
こよみ：そんな、ダメ、じゃないですよ。

和樹：自分が綾代市で経験した事件のことを話しておきましょう。魂魄がない一般人、自分と同じような者たちが逢魔に迫った時の記録です。

気がつくと、車は綾代市のSAMURA I支部に到着していました。片岡さんが語る逢魔事件、魂魄士と一般人の違いって、そんなに大きなもののかなあ……。

守劍術・追加アビリティ

“リーダー”片岡の振るう守りの剣を見よ!



応龍「怒号の旋棍士」上の新アビリティも取得済み 鉄壁の棍術が嵐を呼ぶ!

あなたたちは魂魄士です。武道家でありながら腕を振るう場所がなく、用心棒などで生計を立てていましたが、逢魔と戦った際に魂魄が目覚めました。自分の周囲に仲間がいる状況だと技が冴

え、相手の動きに合わせた攻撃を得意としています。移動したエネミーに対して大打撃を与えるため、味方との連携が重要となっています。

新しいサンプルキャラクターである

『怒号の旋棍士』は、攻撃だけでなく防御も心得ています。多少荒っぽい戦い方をしても、武靈刀のトンファーが身を守ります。下級逢魔程度では傷つくことはないでしょう。

